



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2008年5月23日号 No.50

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



折本業を営むSさん。得意先の移転の影響を話してくれました。左から小竹、田村、萬立

小石川、白山地域の印刷製本業者を訪ね、要望をお聞きしました
「二週間で半分働いていけばいいほう、世の中のせいよ」
「いっぱい話を聞いてもらってストレスの解消になった、ありがとう」

「印刷、製本業の街」として活気があった小石川、白山地域。それが、「デジタル化」「産業ロボット化」、また郊外への工場移転などで深刻な実態がつづいています。私たち区議団は、小竹ひろ子都議、田村智子参院候補党都副委員長らとともに17日、いっせいに街に聞き取りに行きました。

製品の単価は？「ノットは？後継者は？...」など質問を用意していましたが、訪問先からは次々と深刻な実態が寄せられました。インク、現像液、紙などすべて値上りして大変。極端に言つと土日しか仕事がない「親の代から

35年あまり続けてきたが、機械の更新をするにあたり二千万円かかり到底返せる額ではないので、ちよつと今日機械を処分した。どこでも「世の中の流れだから...」と嘆きの声が聞かれます。自前の家をもち、従業員を雇わないまたは特殊な技術をもつそんな案件でも仕事を続けられなくなってしまう。より詳細な聞き取りと、区都の要望をまとめたいと思います。



区立中学校へ施設調査 **「将来ビジョン」で先送り…施設改築、改修**

施設訪問のひとつ、15日は第三、本郷台、第六中に向かいました。子どもたちが毎日通い、勉強する環境を整えるのは区としての大事な仕事。学校でも努力していますが、トイレの悪臭、薄暗い廊下は共通しています。本郷台は避難階段がなく救助袋が設置されていますが階によってはすぐ避難できないこともわかりました。六中は昭和8年の建築、いったん改築予算がついたものの「将来ビジョン」で先送りとなりました。擦り切れた階段の滑りどめ、各所にひび割れ、極めつけは床の傾斜による



地面との間に隙間

「自動扉」、さすがに驚きました。

- 16日 午前「アカデミー評議員会」に委員として出席。昨年度の決算の認定をしました。収支報告がもう少しわかりやすいと助かります。
- 17日 「印刷製本業者への訪問」行動。私の事務所へのべ20人が集まり地域に入りました。
- 19日 夜、中学校PTA連合会の懇親会に参加しました。小学校PTAの時期につきあいのあった多くの方々と会い、みなさん引き続いてがんばってるんだと感じました。
- 20日 礪川地区青少年対策委員会の総会。いつもながら120名くらいの参加に驚きます。今年もサマーフェス、マラソン大会...いろいろ予定されています。

まんだち日記